



主催 ■ 財団法人 ラボ国際交流センター  
 共催 ■ ラボ教育センター  
 後援 ■ 文部科学省(申請中)  
 外務省(申請中)  
 東京都教育委員会(申請中)  
 朝日新聞社

日時 2011年 4月10日(日)  
 10時～16時20分

会場 日本教育会館一ツ橋ホール  
 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2  
 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線  
 神保町駅(A1 出口)下車徒歩 3分

# 子どもも未来を考えるプラットフォーム

## 学びあいが育むことばの力



講演(登壇順)



**「小学生にとっての英語を考える  
 ～ことばへの気づきを育てる」**  
 大津 由紀雄氏  
 慶應義塾大学言語文化研究所教授。専門は言語学・認知科学。マサチューセッツ工科大学大学院言語学・哲学研究科博士課程修了。Ph.D. 主著『英語学の関連分野』(英語学大系6)(共著)(大修館書店 1989)『ことばの力を育む』(共著)(慶應義塾大学出版会 2008)『ことばに魅せられて——対話編』(ひつじ書房 2008)など



**「即効より底力  
 ～母語の土台をしっかりと築く」**  
 内田 伸子氏  
 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授。専門は発達心理学、認知心理学。お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程修了。学術博士  
 主著『ごっこからファンタジーへ』(新曜社 1986)、『発達心理学』(岩波書店 1999)、『創造力』(講談社現代新書 1994)、『子どもの世界づくり』(サイエンス社 1989)ほか



**「協同的学びによる言語教育の展望」**  
 佐藤 学氏  
 東京大学大学院教育学研究科教授。専門は教育学。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。教育学博士  
 主著『米国カリキュラム改造史研究』(東京大学出版会)『学びの身体技法』(太郎次郎社)、『教育方法学』(岩波書店)、『カリキュラムの批評』『学びの快楽』(以上世織書房)など

実践報告



熊井 とも子氏(前列左端)  
 ラボ・テューター。ラボ国際交流センター普通会員。神奈川県横浜市で民間の教育団体ラボ・パーティを主宰。幼児～大学生年代の子どもたち、青少年を30年以上にわたり指導



子どもによる劇表現発表  
 古事記より再話した物語“The Birth of Land”『国生み』の劇表現(テーマ活動)を、幼児から大学生約35名が、英語と日本語で発表します。また、その取り組み過程をラボ・テューターが報告します。

**参加申込方法**  
 FAX かEメールで、氏名・性別・職業・連絡先を記入して4月6日(水)までにお申し込みください。先着順に受け付けます。定員になりしだい締め切りといたします(ラボ国際交流センター会員、ラボ・パーティ会員は、ラボ・テューターにお申込みください)。

**FAX : 03-5324-3409**  
**E-mail : forum@labo-global.co.jp**  
 いずれもラボ教育フォーラム実行委員会宛

**参加費 1,000円**  
 当日受付でお支払いください。  
 (会員の方はテューターにお支払いください)

**お問い合わせ**  
 FAXかEメール、電話でお願いします。  
 財団法人ラボ国際交流センター  
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1  
 西新宿三井ビル16階  
 TEL03-5324-3419(ラボ教育フォーラム実行委員会)  
 URL: <http://www.labo-intexchange.or.jp>

# 学びあいが育むことばの力

「子どもの未来を考えるフォーラム」開催にあたって

## 異文化に出会い、他者との交流で育つ子どもたち

「1か月間、ずっとホストフレンドといっしょにいた。習いごと、仕事も、ゲームも。ホストファミリーと同じ生活、仕事をしてやっと家族になれた気がした。英語が通じなくても、自分は積極的に伝えることと、自分が楽しもうとしなきゃなにかもつまらないんだ、ということを知った」(2010年ラボ国際交流でアメリカにホームステイをした中学1年生・男子の感想文より)

ラボ国際交流は今年40周年を迎えます。毎年約1,000名の青少年が海を越え、はじめて出会う家族と1か月間過ごします。これまでに5万名が参加しました。英語だけでひと夏を過ごすその参加者の9割以上は中学生です。滞在先ではさまざまな異文化に直面しますが、受入れ家庭の善意のもと、それらを受けとめ乗り越える力を多くの参加者がもっていることに、子どもたちの未来を感じます。

## 物語や仲間との対話が、豊かなことばの力、英語の力に

そのような力はどこから湧いてくるのでしょうか。いま、日本は内向きの社会になったといわれています。居心地のよい空間にこもり、生身の人間との軋轢をさけ、インターネットや電子ゲームなどの空間に入り浸ってしまうなどの現象が、多くの子どもたち、若者を覆いはじめています。このような社会で、子どもたちの心とことばを豊かに育てていくことは、ますます重要な課題となっています。

私たちは世界の物語や名作絵本を、子どもたちが仲間とともに表現するという活動を通し、子どもが心の表現としてのことばに出会い、母語である日本語を豊かにし、そのうえで英語などの外国語を育てていく活動を積み重ねてきました。

## 子どもたちが学びあいで育つために、私たちおとなができることは

今回のフォーラムでは、言語学・認知科学、発達心理学、教育学の専門家から、現在の日本の教育をめぐる課題を提示していただきます。

また子どもたちが英語と日本語による劇表現(テーマ活動)の発表をした後、発表までの過程の学びについて、実践者(ラボ・チューター)が報告します。その後のパネルディスカッションでは、「ことばの教育」「英語の教育」という視点から、「ことばへの気づきを育てる」「協同的学び」「即効より底力」などをキーワードに話しあいます。

子どもを取り巻く環境にさまざまな課題が生じている今日、心を豊かに耕しながらことばの力(母語である日本語、英語などの外国語)を磨き、自己肯定感やコミュニケーション力、社会力などを育てることは、ますますたいせつになってきています。一人ひとりの子どもが、その子らしく輝きながら、世界で生き生きと活躍できるように、私たちおとなができることは何かを学びあう機会になればと願っています。ふるってご参加ください。

ラボ国際交流センター

## プログラム

10:00 開場

10:20 開演 主催者あいさつ

佐々木 毅ラボ国際交流センター会長(学習院大学教授・元東京大学総長)

- 講演 大津 由紀雄氏(慶應義塾大学教授 言語学・認知科学)  
「小学生にとっての英語を考える～ことばへの気づきを育てる」
- 講演 内田 伸子氏(お茶の水女子大学大学院教授 発達心理学)  
「即効より底力～母語の土台をしっかりと築く」
- 子どもたちの英語・日本語による劇表現(テーマ活動)発表  
“The Birth of Land”『国生み』(古事記より再話)
- 実践報告(ラボ・パーティ) 熊井 とも子(ラボ・チューター)
- 講演 佐藤 学氏(東京大学大学院教授 教育学)  
「協同的学びによる言語教育の展望」

## ● フォーラム

専門家3名とチューターによるパネルディスカッション  
司会:ラボ教育センター事務局

質疑応答

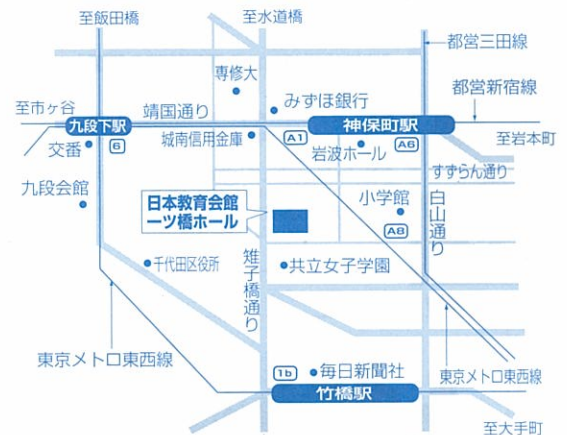
16:20 終演

日本教育会館一ツ橋ホール

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

道案内専用電話 tel03-3230-2833

http://www.jec.or.jp



アクセス

- 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線  
神保町駅(A1 出口)下車徒歩 3分
- 地下鉄都営三田線神保町駅(A8 出口)下車徒歩 5分
- 東京メトロ東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩 5分
- 東京メトロ東西線九段下駅(6 番出口)下車徒歩 7分
- JR 総武線水道橋駅(西口出口)下車徒歩 15分